



ポストコロナ時代に向けた テクノ未来塾の姿 第1セッション「See」

2020/5/16 中村善貞



お題

- 1) 新型コロナウイルスによる世界の変化
 - a) 長期的にわたる変化 → 危機を起点としたパラダイムシフト
(価値観の変化)
 - b) 中期的な変化 → 危機を起点とした、変化の加速
 - c) 短期的な変化 → 「対コロナ感染拡大」的対応
- 2) ポストコロナ時代 (パラダイムシフトを読む)
- 3) ポストコロナ時代に求められるテクノ未来塾活動

短期的な変化：「対コロナ感染拡大」的対応

ここ数年に渡り求められることに対応する。

- COVID-19の特徴
 - 多くの感染者が無症候・軽症であり、すべての感染連鎖を見つけることはほぼ不可能（発症前に感染）
 - 濃厚接触者の多くは感染していないが、クラスタ的な感染が発生し、感染が拡大している。（感染する条件があるようだ→「3密」）
- 感染がリスクでなくなるまでには数年間かかる。
 - ワクチン・治療薬により：多くの人々が感染、重症化しにくくなる。
 - 治療薬により：重症化した場合でも適切な治療ができる。
- それまで継続し求められる行動変容
 - ソーシャルディスタンスの確保 ⇒ 従来型の集合活動の見直し！
 - 衛生概念の励行

中期的な変化：危機を起点とした、変化の加速

今、世の中で起こっていることは、
全く想定できない方向に変化しているのではなく、
可能で想定される**変化が加速**している。

- 様々な活動が、フィジカル空間→サイバー空間へ
 - テレワーク、遠隔診療、通販、
 - お金、信用、証明などのデジタル化
(キャッシュレス、印鑑レス)でも「VR空間」にはなっていない ……まだツールが整っていない
- さらに接触機会を削減するため 加速する？
 - 労働集約的な仕事の「自動化、ロボット化」
 - 人でなくて良いところの「非人化」
 - 対面の「非対面化、遠隔化」

長期にわたる変化：危機を起点としたパラダイムシフト

パラダイムシフトは、

人々の価値観の変化が駆動力になる。

今まで「是」とされていたものが「非」となる。

「価値 A > 価値 非A」 → 「価値 A < 価値 非A」

- 産業革命以降の価値観の大転換点かも

長期にわたる変化：危機を起点としたパラダイムシフト

パラダイムシフトは、

人々の価値観の変化が駆動力になる。

今まで「是」とされていたものが「非」となる。

「価値 A > 価値 非A」 → 「価値 A < 価値 非A」

- 産業革命以降の価値観の大転換点かも

□ 工業「文明」 vs 「文化」
機能的価値 ↓ ↓ 意味的価値

□ 成長 vs 縮小

□ 経済・産業 vs 生活

□ お金 vs 心

□ 都市 vs 地方

□ グローバリズム vs ナショナリズム

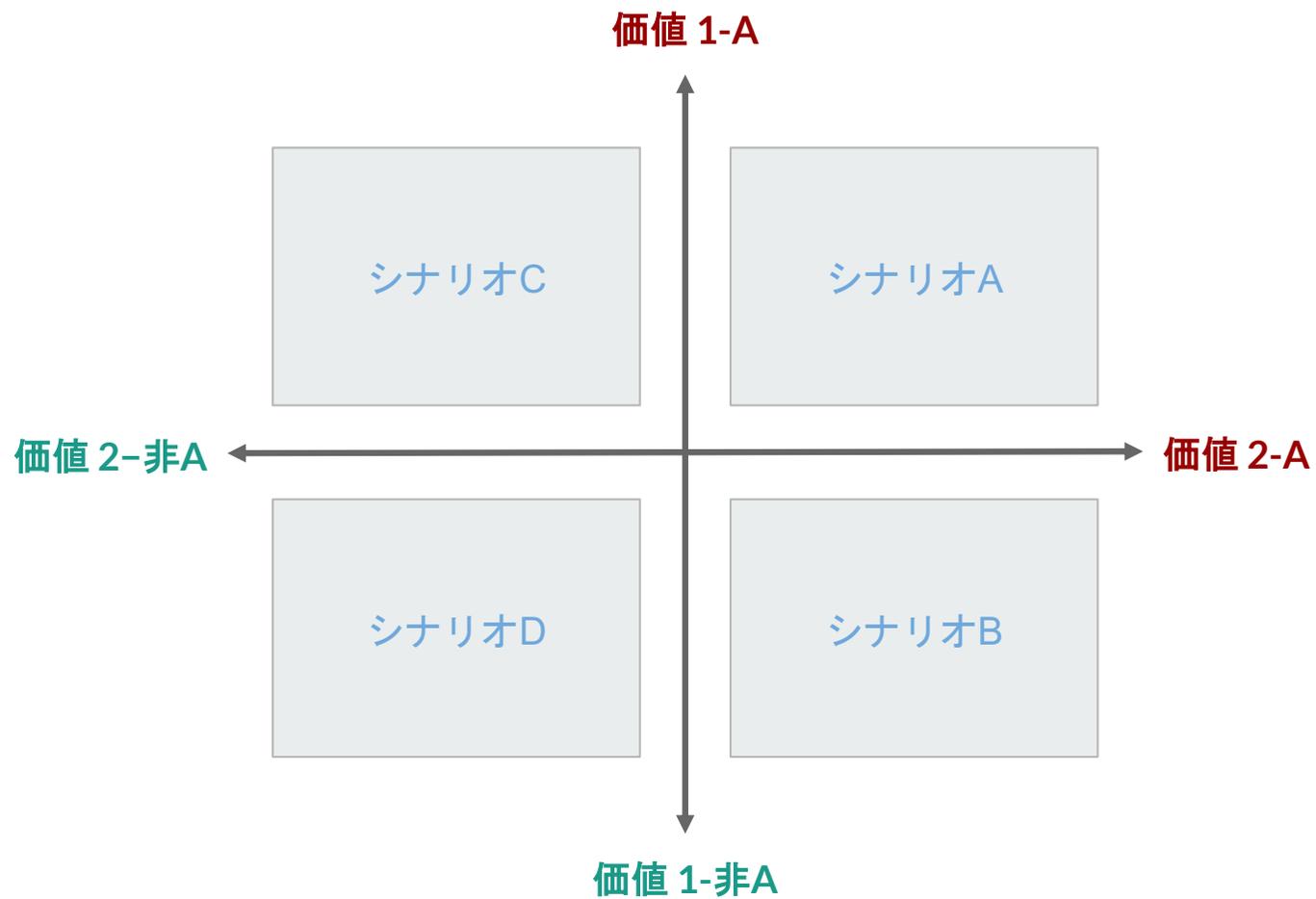
□ 集中 vs 分散

□ ユニバーサリズム vs リージョナリズム

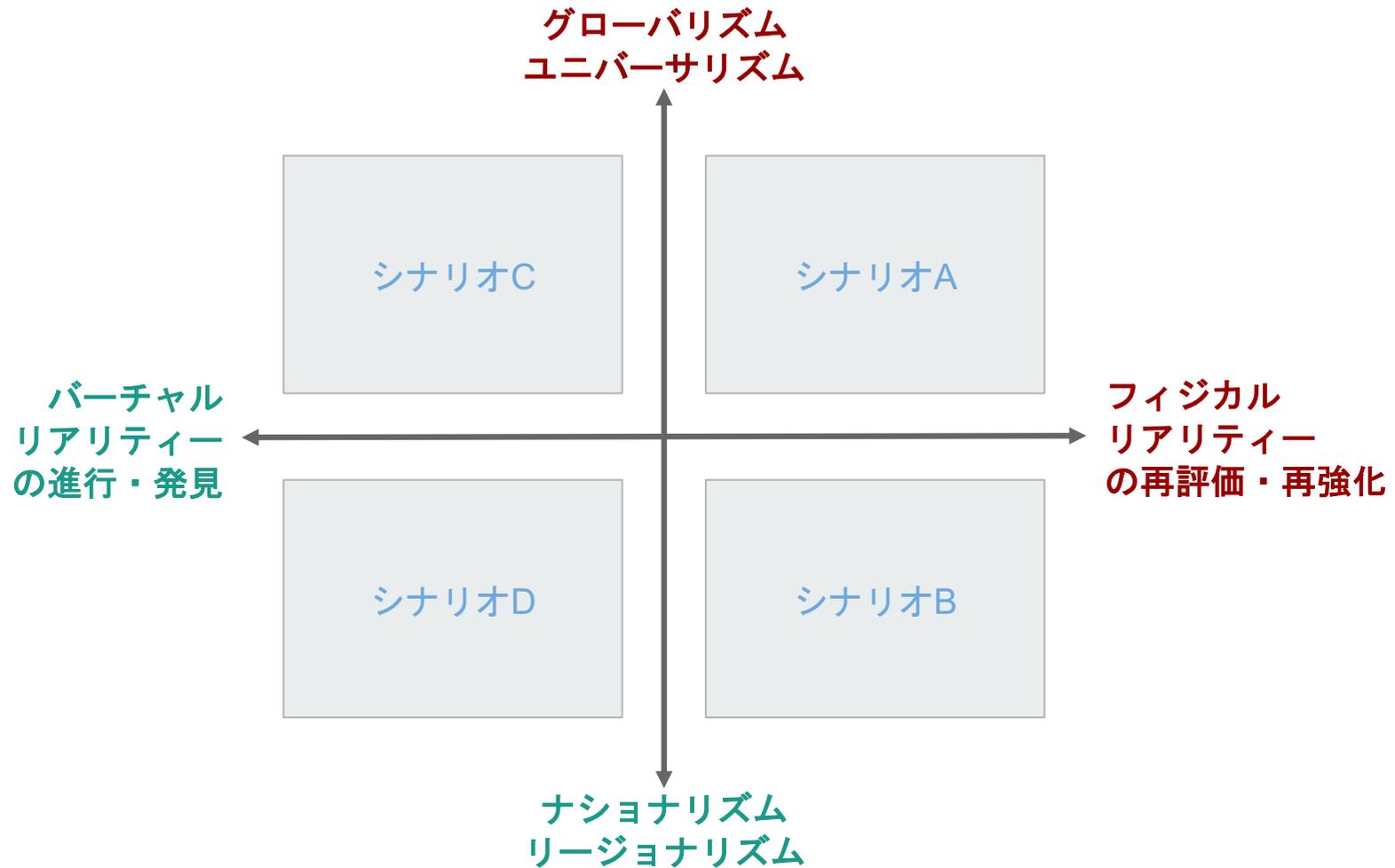
□ 統一 vs 多様

□ 共通 vs 違い

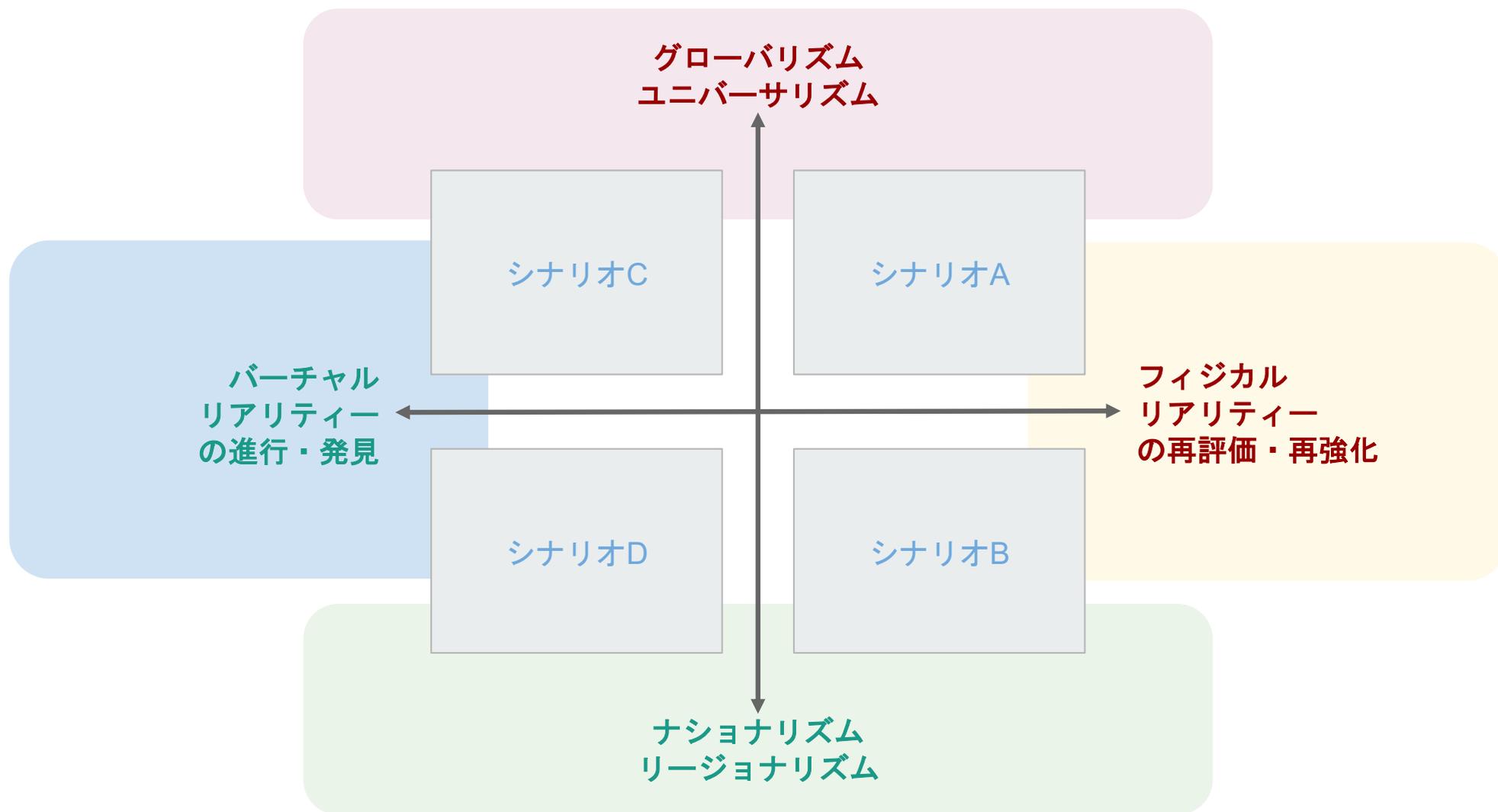
2つの軸と4つのシナリオ



リモートワーク



2つの軸と4つのシナリオ



2つの軸と4つのシナリオ

